

事務事業評価（主要事業レビュー）【下水道事業会計】

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01下水道築造費

事務事業番号

01010101

事業名		管渠築造事業				
担当部署		上下水道部下水道課				
根拠法令		下水道法、下水道法施行令、苫小牧市下水道条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	1,294,687	1,108,606	1,467,382	有効性 公平性 効率性 A	
	(A)の内訳					
	国庫支出金	206,291	142,172	281,200		
	地方債	927,210	791,058	1,041,693		
	その他	11,800	11,801	1,988		
	一般財源	149,386	163,575	142,501		
人件費(B)	-	-	-			
事業費計(A+B)	1,294,687	1,108,606	1,467,382			
事業の目的		下水道管は、汚水や雨水を排除することで、衛生的な市民生活を維持すると共に、大雨の浸水被害を軽減する重要な施設です。その機能を維持するため、下水道管の整備や老朽化した下水道管の改築更新を計画的に実施します。				
事業の内容						
SDGs17の目標		1 汚水管整備について 有珠の沢町の下水道未整備箇所において、汚水管を整備しました。 2 雨水管整備について 近年の集中豪雨による浸水被害を軽減するため、住吉町や勇払地区などで雨水管を整備しました。 3 老朽化対策について 下水道管の流下機能を維持するため、ストックマネジメント計画に基づき、美原町や浜町などで老朽管の改築更新を実施しました。				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		下水道普及率	%	99.3	99.4	99.3
		雨水面積整備率	%	76.4	76.5	76.5
		改築・更新延長	km	29.2	32.5	35.0
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				下水道管の整備や改築更新を行う事業であり、衛生的で安全安心な市民生活に欠かすことができない事業です。
効率性			●			国の交付金を活用しながら、経営戦略およびストックマネジメント計画などにに基づき、計画的かつ効率的に事業を実施しています。
公平性		●				公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全に資する事業であり、衛生的で安全安心な市民生活の維持に欠かすことができない事業です。
事業の課題 今後の方向性		下水道管は、衛生的で安全安心な市民生活の維持に欠かすことができない施設であるため、国の交付金を活用しながら、経営戦略およびストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に事業を実施していきます。				
		事業継続・終了等				
		事業継続				
特記事項		事業費には、人件費が含まれています。				

事務事業評価（主要事業レビュー）【下水道事業会計】

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01下水道築造費

事務事業番号

01010102

事業名		ポンプ場築造事業					
担当部署		上下水道部下水道課					
根拠法令		下水道法、下水道法施行令、苫小牧市下水道条例					
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	76,022	74,575	102,900	有効性 公平性 効率性 A		
	(A)の内訳						
	国道支出金	32,501	32,501	9,000			
	地方債	43,100	41,653	93,875			
	その他	339	339	25			
	一般財源	82	82				
	人件費(B)	-	-	-			
事業費計(A+B)	76,022	74,575	102,900				
事業の目的		ポンプ場は、汚水を下水処理センターに送水することで、衛生的な市民生活を維持する重要な施設です。その機能を維持するため、老朽化した設備の長寿命化や改築更新を計画的に実施します。					
事業の内容							
SDGs17の目標		3 すべての人に健康と福祉を 6 安全な水とトイレを世界中に 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 14 海の豊かさを守ろう 1 老朽化対策について ポンプ場の機能を維持するため、ストックマネジメント計画に基づき、汐見町中継ポンプ場の電気設備の更新を実施しました。					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度	
		更新機器数	点	9	0	3	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
		有効性	●				ポンプ場の施設整備や改築更新を行う事業であり、衛生的で安全安心な市民生活の維持に欠かすことができない事業です。
		効率性		●			国の交付金を活用しながら、経営戦略およびストックマネジメント計画等に基づき、計画的かつ効率的に事業を実施しています。
		公平性	●				公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全に資する事業であり、衛生的で安全安心な市民生活の維持に欠かすことができない事業です。
事業の課題 今後の方向性		ポンプ場は、衛生的で安全安心な市民生活の維持に欠かすことができない施設であるため、国の交付金を活用しながら、経営戦略およびストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に事業を実施していきます。					事業継続・終了等
							事業継続
特記事項		事業費には、人件費が含まれています。					

事務事業評価（主要事業レビュー）【下水道事業会計】

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01下水道築造費

事務事業番号

01010103

事業名		下水処理場築造事業					
担当部署		上下水道部下水道課					
根拠法令		下水道法、下水道法施行令、苫小牧市下水道条例					
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	317,346	311,333	581,240	有効性 公平性 効率性 A		
	(A)の内訳	国道支出金	114,712	114,642			273,500
		地方債	187,900	180,689			268,032
		その他	1,312	1,312			708
		一般財源	13,422	14,690			39,000
	人件費(B)	-	-	-			
	事業費計(A+B)	317,346	311,333	581,240			
事業の目的		下水処理センターは、汚水を浄化することで公共用水域の水質を保全し、衛生的な市民生活を維持する重要な施設です。その機能を維持するため、老朽化した設備の長寿命化や改築更新を計画的に実施します。					
事業の内容							
SDGs17の目標							
3 すべての人に健康と福祉を 6 安全な水とトイレを世界中に 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 14 海の豊かさを守ろう		1 老朽化対策について 下水処理センターの機能を維持するため、ストックマネジメント計画に基づき、西町下水処理センターの減菌棟の耐震化や汚泥輸送設備の長寿命化、勇払下水処理センターの制御電源設備の更新などを実施しました。					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度	
		更新機器数	点	34	22	15	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
		有効性	●				下水処理センターの施設整備や改築更新を行う事業であり、衛生的で安全安心な市民生活の維持に欠かすことができない事業です。
		効率性		●			国の交付金を活用しながら、経営戦略およびストックマネジメント計画等に基づき、計画的かつ効率的に事業を実施しています。
		公平性	●				公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全に資する事業であり、衛生的で安全安心な市民生活の維持に欠かすことができない事業です。
事業の課題 今後の方向性		下水処理センターは、衛生的で安全安心な市民生活の維持に欠かすことができない施設であるため、国の交付金を活用しながら、経営戦略およびストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に事業を実施していきます。					事業継続・終了等
							事業継続
特記事項		事業費には、人件費が含まれています。					

事務事業評価（主要事業レビュー）【下水道事業会計】

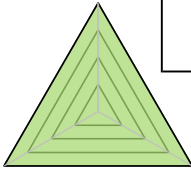
款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 04固定資産取得費

事務事業番号

01010401

事業名		固定資産整備（下水道事業）				
担当部署		上下水道部下水処理センター				
根拠法令		下水道法、下水道法施行令、苫小牧市下水道条例、水質汚濁防止法				
予算・決算 （千円）	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	1,100	1,037	1,441	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,100	1,037	1,441		
	人件費(B)	-	-	-		
	事業費計(A+B)	1,100	1,037	1,441		
事業の目的		下水処理センターの機能を維持するため、維持管理に必要な固定資産の整備を計画的に行います。				
事業の内容		SDGs17の目標     1 水質検査用機器の更新について (1) pH計 一台 水や汚泥の酸性やアルカリ性を測定するための機器です。 (2) 分析用天秤 一台 下水や汚泥および薬品の重さを、ごく微量まで精密に測る装置です。 (3) オートクレーブ 一台 高温・高圧の蒸気で、細菌などを死滅させる滅菌装置です。 (4) 光学式溶存酸素計 一台 水の溶存酸素を測定するための機器です。				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		水質検査機器の更新	台	1	1	4
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				各種水質基準値を正確に計測するための機器更新を効率的に行うことは、衛生的で安全安心な下水道につながります。
効率性		●				各種機器類については機器更新計画に従い、老朽化度合いを確認しながら順次更新していきます。
公平性		●				機器更新を計画的に行うことで、水質検査が適正に実施されます。また、放流水の水質基準への適合は市民の安全安心な生活に直結しており、必要不可欠な事業です。
事業の課題 今後の方向性		目的に合った固定資産の整備ができています。翌年度以降もより効率的な事業とするため、導入予定の固定資産の有効性、業務効率化について十分検討し、費用対効果の高い資産整備を実施していきます。				事業継続・終了等
						事業継続
特記事項						